

つくば国際短期大学

2023（令和5）年5月2日

新型コロナウイルス感染症に関する 5月8日以降の対応について

1. キャンパス内での対応

- (1) 授業中はマスク着用を原則とする。
- (2) 授業以外のマスクの着脱については、個人の判断に委ねる。

- ①マスクをつけない場合でも、必要と判断される状況に備えて常時マスクを携帯する。
- ②マスクをつけてもつけなくても、自分と異なる選択をする人を非難しない。
- ③マスクを捨てる場合は、ビニール袋に入れて密封してからゴミ箱に入れる。
(鼻をかんだティッシュペーパーなども同様)。
- ④感染状況が悪化した際は、マスクの着用を求める場合がある。

- (3) 講義室などは換気に努める。
- (4) 授業中の座席は間隔を空けることを原則とする。
- (5) マスクを外して会話する場合は、正面を向いての会話を避ける。あるいは間隔を空ける。
また、大声で話さない。
- (6) 手洗いや手指のアルコール消毒などに努める。
- (7) 食堂利用時は、会話を控えマスク着用後に会話することを推奨する。12:10~13:00の時間帯は混雑が予想されるため、食事以外の目的で利用することを控える。食事後は速やかに次の利用者へ席を譲る。

2. 登校前には検温を行う。

3. 発熱や風邪などの症状がある場合は、自宅療養か医療機関を受診する。

- ①医療機関において、学校保健安全法が定める感染症と診断された場合は「出席停止」となる。
 - ・担任へ連絡する。(→担任は所定の用紙に聴取内容を記録し、総務課長へ提出)
 - ・出校可など諸々の判断は、受診した医師の指示に従う。
 - ・出校した際には、受診時の領収書か処方箋などのコピーを提出する。
- ②「有症状者、陽性者、同居家族が陽性」の人は、通院などで外出するときはマスクを着用する。

4. その他、マスクの着脱対応について

- (1) 混雑した場所（通学時の電車やバスなどを含む）では、マスク着用を推奨する。
- (2) 医療機関内、高齢者への配慮が必要な場所では、マスク着用を推奨する。

5. 日々、健康管理に努める。

■免疫力を落とさないために心掛ける点

- ・規則正しく食べる
- ・規則正しくしっかり睡眠をとる
- ・適度に運動を行う
- ・疲労をためない など